

第19回 ジャパンオープンハンドボルトーナメント 戦 評 報 告 書

競技日	平成26年 8月10日	試合番号	A-7
種別・回戦	男子・2回戦	会場	河南総合体育館

とよたぼうしよくきゆうしゅうれっどいんぱるす トヨタ紡織九州レッドインパルス		だいたいくらぶ 大同クラブ		得点チェック欄		
28	11	前半	9	18	前半	<input checked="" type="checkbox"/>
	17	後半	9		後半	<input checked="" type="checkbox"/>
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>
		第2延長 後半			合計点	<input checked="" type="checkbox"/>
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>

戦評	戦評委員氏名	倉谷宣宏
----	--------	------

大同クラブのスローオフで始まった。トヨタ紡織20番藤山のロングシュートで先制点をあげた。最初の5分は点の取り合いだったが、その後小康状態が続いた。大同クラブ22番酒向の2度の退場の際にトヨタ紡織が着実に得点を重ね点差をつけた。5点差をつけられた大同クラブはタイムアウトをとり、気持ちを切り替えパスカットからの速攻等で4点を連取した。終盤トヨタ紡織4番村上が退場になったが、粘り強いディフェンスでトヨタ紡織が2点差をつけて前半を終了した。

後半開始早々エリア内防御により得た7mスローで大同クラブが1点差に追いつき、その後交互に点を取り合う展開が続いた。7分すぎにトヨタ紡織が3連続得点した。トヨタ紡織6番村上20番藤山の2人が退場した間に大同クラブは2点しか返すことができなかった。終盤両チームともラフプレイが目立った。その中でトヨタ紡織が着実に点差を広げ、28対18でトヨタ紡織が勝利した。

送信担当記録委員	山久保 恵理
----------	--------